

○『とよた新茶・手もみ講習会』が開催されました！

豊田市茶業組合主催で令和3年4月27日に「とよた新茶・手もみ講習会」が豊田市豊栄町のいしかわ製茶工場で2年振りに開催されました。

この行事は、平成の始め頃から、毎年、「渡刈こども園」の園児たちや豊田市長を始めとした来賓の方々に「茶摘み」や製茶技術の基本である「手もみ」を体験してもらうことにより、新茶の季節の到来をPRすることなどを目的に行われています。

まず、「渡刈こども園」の園児たちと豊田市副市長が組合員の指導のもと、茶摘み体験をしました。

また、お茶の手もみ体験については、2年前は園児たちと来賓の方々が一緒に行っていましたが、今年は新型コロナウイルス対策で密になることを避けるために、来賓の方々だけで体験しました。

主催者である茶業組合の野場組合長は、あいさつで「今年は、萌芽後の昼夜の寒暖差が大きいので、香りの良いお茶ができることが期待できる」、「国内の新興産地に対抗するために品質で勝負していく必要がある」と述べられました。

今後は、4月下旬から5月中旬にかけて、順次、市内の茶園で品評会出品用の新茶の手摘み作業が行われた後、一般販売向けの機械刈りでの茶葉摘採が行われます。

豊田市産の今年の新茶、楽しみです。



園児との茶摘み体験



手もみ体験